金は
チャ
RC
ロー
の3
0万
務1
3点

採算性があると同社では見ている。すでに飲料メーカーなど4社から受注。同社は内部統制関連の受注を伸ばして、09年3月期売上高を06年3月期比2倍強の50億円以上へと引き上げる計画だ。

米3M

の提訴の行方は予断を許さないが、リチウムイオン電池をめぐり新たな難題を抱えた形だ。

（ワシントン＝時事）

内容
タ連
ってい

は発
した
用リチ
自主回
今回

07春闘

日産 労使交渉 大きな隔たり

日産自動車は8日、今春闘の最終回答日を14日に控えて依然労使間で大きな隔たりがあることを明らかにした。業績連動の一時金について組合側は6・3カ月を要求しているが、直近の交渉で会社側は5・9カ月と回答。07年3月期の営業利益を7700億円と当初計画から約1000億円下方修正したことを受け、「いい意味での危機意識をもって考えてもらいたい」（川口均常務執行役員）と理解を求めている。

賃上げは7000円（一人当たりの平均賃金改定原資）の組合要求に対し6000円の回答で、「国際競争力の限界を超えてはいけない」（同）と満額回答に強い拒絶反応がある。最終回答日に向けて、トップ折衝などを含めて交渉が続く。

矢崎科学技術振興記念財団 研究助成16人決定

矢崎科学技術振興記念財団（東京都港区、尾崎護理事長、03・3455・8878）は8日、06年度の研究助成金対象者16人を決定し、都内で贈呈式を開いた。一般研究助成（助成金200万円）は「水分子燃料化のための光合成膜―金属微粒子自己集積体の創製」を題材にした天尾豊大分大工学部応用化学科助教授をはじめ計5件・5人を、また、若手研究者を対象とする奨励研究助成（同100万円）は「1次元量子効果ナイトライド系半導体トランジスタの開発」の岩谷素顕名城大理工学部材料機能工学科講師をはじめ10件・10人を選んだ。

光科学技術研究振興財団も助成15件

1000万円を助成する「特定研究助成」は「骨導音声を利用した安心・安全な音声コミュニケーション支援」の鵜木裕史北陸先端科学技術大学院大情報科学研究科助教授に決定。山崎弘郎選考委員長は「スムーズなコミュニケーションを実現する、社会にとって期待される重要な技術」と評した。また過去の助成で、その後も研究を発展させている研究者に贈る「矢崎学術賞」には岩佐義宏東北大金属材料研究所教授ら2人を選んだ。植物ホルモンオーキシンを介した成長制御機構の解明」など。また、光科学で優れた研究成果を残

子さん、桐修平さんの一米　成長技術の開発」、特別賞

目で見てもらいなさい」と

雇　安
介　トヨ
会長
と懇
ぐる
な取
を交
雇
る課
に生
懇
か、
井淳
新造
の中
席。
題や
と高
心を
で開